

第2回 CISPRJ 電波雑音委員会 議事要録

1. 開催日時:平成 28 年 12 月 13 日(火) 15:00~17:00

2. 開催場所:(一財)VCCI 協会 5 階 A+B 会議室

3. 出席者:(順不同、敬称略) 委員 19 名、参加 9 名、事務局 2 名 計 30 名

<委員等>

徳田委員長<東京大学大学院>

水口委員<日本放送協会>

相川委員<電気事業連合会>

加藤委員<一般財団法人 電波技術協会>

平伴委員<一般社団法人 日本照明工業会>

前川委員<一般社団法人 日本電機工業会>

土屋委員<一般社団法人 日本陸用内燃機関協会>

川脇委員<一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会>

上野委員<地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター>

山下委員<株式会社 UL Japan>

山下副委員長<一般財団法人 電気安全環境研究所>

諸田委員<一般社団法人 インターホン工業会>

中森委員<一般社団法人 電子情報技術産業協会>

大澤委員<一般社団法人 日本アミューズメントマシン協会>

安田委員<一般社団法人 日本自動販売機工業会>

高岡委員<一般社団法人 日本配線システム工業会>

石関委員<一般財団法人 日本冷凍空調工業会>

星 委員(代理:秋山)<一般財団法人 VCCI 協会>

梶原委員<一般財団法人 日本品質保証機構>

<参加>

経済産業省製品安全課 遠藤課長補佐

総務省電波環境課 谷口電波監視官

義経<独立行政法人 製品評価技術基盤機構>

井上<一般財団法人 電気安全環境研究所>

小田<一般財団法人 VCCI 協会>

島先<一般財団法人 VCCI 協会>

中野<一般社団法人 日本電機工業会>

古川<一般社団法人 日本電気協会>

長部<一般財団法人 VCCI 協会>

<事務局>

鶴見, 村松(記)<一般財団法人 VCCI 協会>

<欠席> 委員4名(委員長への委任状4名)、参加2名 計6名

野本委員<超音波工業会/高周波機械工業会>

正岡委員<一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター>

総務省電波環境課 柴田係長

大浦委員<一般社団法人 日本ホームヘルス機器協会>

三塚委員<一般財団法人 テレコムエンジニアリングセンター>

宮川<独立行政法人 製品評価技術基盤機構>

4. 配付資料

資料1 : 第1回 CISPR小委員会 議事要録(案)

資料2 : 第1回 CISPR小委員会におけるアクションアイテムの報告

資料3-1 : CISPR小委員会(仮称)名称及び規格名称について

資料3-2 : CISPR小委員会(仮称)規格名称検索結果報告

資料4-1 : CISPR 15 WG メンバ リスト案

資料4-2 : CISPR 15 WGにおける整合規格案のスケジュール見直し案

資料5-1 : CISPR 32 WG メンバ リスト案

資料5-2 : CISPR 32 WGにおける電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提

案する規格の概要案

資料 5-3 : C I S P R 3 2 W Gにおける整合規格案

資料 5-4 : C I S P R 3 2 W Gにおける整合規格案のスケジュール見直し案

5. 議事概要

5-1:開会

本日の出席委員数について事務局より報告があり、委員総数 23 名に対し、19 名出席、委員長への委任状 4 名であり、委員会 規約第 9 条に定める全委員数の 2/3 以上の出席を充足しており、本委員会は成立していることが確認され議事を進めた。

5-2:第 1 回 CISPR小委員会 議事要録(案)の確認(資料 1)

・第 1 回 CISPR 小委員会議事要録(案)について、既に配布済みであり修正等がある場合は、12 月 16 日までに事務局へ連絡をすることで承認された。

5-3:徳田委員長の挨拶

・徳田委員長ご挨拶の後、委員長が議長となり、審議に入った。

5-4:第 1 回 CISPR小委員会におけるアクションアイテムの報告(資料2)

・事務局より、資料に基づき説明が行われた。これに対し質問はなく、資料内容が承認された。

5-5:CISPR小委員会(仮称)名称及び規格名称について(資料 3-1、3-2)

・事務局より、資料に基づき説明があり、以下の意見があった。

ア. 委員会の名称は、いつ決まるのか。

→規格名称を決めた後に、委員会名称を決めることを考えている。

イ. 規格名称案1「CISPRJ XX」、案2「J-CISPR XX」及び案3「VCCI-CISPR XX」は、委員の投票にて決定することを全委員が承認した。

ウ. 規格名称について委員の投票の結果、議長を除く委員出席者 18 票、議長への委任状 4 票に対し、下記の通り、案1が賛成多数を得、承認された。

案1「CISPRJ XX」 :10 名

案2「J-CISPR XX」 :7 名

案3「VCCI-CISPR XX」:1 名

エ. 本委員会で決定した規格名称に関し、他の団体が作成提案する整合規格案についても本委員会の規格名称 CISPRJ を使用するのか。

→本委員会で作成提案する規格は、規格名称 CISPRJ を使用する。

→他の団体が他の規格名称で作成提案する整合規格案を提案する場合は、国から整合規格として判断されれば、CISPRJ 規格ではない規格名称となると考える。

オ. CISPRJ の CISPR と J とに間に半角スペースを入れたらどうか。

→簡略化された方が分かりやすい、また、海外の方が発音し易い点を考慮し、スペースは入れない方がよい。

カ. 委員長より、委員会名称は、規格名称を取り入れた CISPRJ 小委員会ではどうかとの提案があった。

キ. CISPRJ 小委員会という名称は、総務省の電波利用環境委員会 CISPR 委員会や国際委員会の CISPR I 小委員会等と類似の名称であるので、別の名称がよいのではないかと提案があった。

→委員会名称について審議した結果、案1「VCCI-CISPRJ」委員会、案2「VCCI-CISPR 委員会」及び案3「CISPRJ 電波雑音委員会」の3つの案が提案され、委員による投票の結果、議長を除く委員

出席者 18 票、議長への委任状 4 票に対し、下記の通り、案3が賛成多数を得、承認された。

案1「VCCI-CISPRJ 委員会」 :1 名

案2「VCCI-CISPR 委員会」 :0 名

案3「CISPRJ 電波雑音委員会」:17 名

- ク. 別表第十二 国際規格等に準拠した基準 表 2. 雑音の強さに関する基準への表記について確認がされ、基準番号は例えば J55015 (HXX)となり、年号は和暦となる。本文は、例えば CISPRJ XX:XXXX となり、年号は西暦となる。なお、基準番号の年号と本文の年号は必ずしも一致しない場合があるとの説明があった。

5-6: CISPR 15 WG について(資料 4-1、4-2)

- ・平伴主査より、CISPR 15 WG の審議状況について、資料に基づき説明があった。

答申に解釈票があり、これを本文に入れるかについて、及び CISPR 15 Amd1 の扱いをデビエーションとするかについて議論している。12 月 19 日、20 日の両日で第 2 回 CISPR 15 WG を開催し、1 月に開催される第 3 回 CISPRJ 電波雑音委員会で、整合規格案を承認していただく予定との報告があった。

- ・CISPR 15 WG メンバ リスト案及びスケジュール案について説明があり、審議の結果、承認された。

5-7: CISPR 32 WG について(資料 5-1、5-2、5-3、5-4)

- ・秋山主査代理より、資料に基づき説明があった。

ア. CISPR 32 WG メンバ リスト案及びスケジュール案について説明があり、審議の結果、承認された。

イ. CISPR 32 WG における電気用品安全法の技術基準の解釈 別表 第十二に提案する規格の概要案について

ー規格番号は、本日決定した CISPRJ 32:20XX を記載。

ー主な国際規格との差異の概要とその理由は、国内答申の技術的内容に変更を加えることなく作成しており、国際規格 CISPR 32 第 2.0 版 (2015) との差異について記載する。

ー様式は、JIS Z 8301 に則って作成する。

ー国際規格の正誤表(カラーバーに関する件)が出ており、正誤表は国際規格に含まれるため、整合規格案に反映する。

ーDC 電源ポートを持つ機器と FM カーラジオの扱いについて、現在、WG において審議中である。

ウ. CISPR 32 WG における、整合規格案作成方針について

ー規格で点線の下線を施してある箇所は、対応する国際規格を変更している事項を示す。

ー軽微な誤記は修正する。

エ. 廃止する基準及び有効期間について、CISPRJ 32 は J55013 及び J55022 の置き換わりとなり、CISPRJ 32 が発行されたら J55013 と J55022 は廃止となるのではないか。

→電気用品調査委員会事務局 古川様より、J55013 及び J55022 が廃止となるのであれば、資料 5-2 の廃止する基準及び有効期間の欄に、J55013 及び J55022 の基準名と有効期間 3 年又は併用させてほしい旨、記載が必要である。CISPRJ 電波雑音委員会から上程された内容を基に電気用品調査委員会で提案し、経産省が決定することとなる。

→廃止する基準及び有効期間については、CISPR 32 WG 参加の工業会に確認した後、第 3 回 CISPRJ 電波雑音委員会に提案し、審議することとした。

→第 3 回 CISPRJ 電波雑音委員会までに工業会における委員会の開催予定がなく、工業会の確認が得られなかった場合はどうしたらよいかとの意見に対し、古川様より、3 月の電気用品調査委員会

までに決めていただければよいとの説明があった。

オ. 別表第十二 国際規格等に準拠した基準 表 2. 雑音の強さに関する基準の本文に掲載される規格名称について、CISPRJ 15 と CISPRJ 32 だけでなく、他の規格名称も改称するのか。(例: J55011→CISPRJ 11)

→CISPRJ 電波雑音委員会が、新たに作成提案した規格から規格名称を変えていくことになる。すべてのJ規格がCISPRJ規格に置き換わるまでは、国の規格 J550XX とCISPRJ規格が混在することになる。

5-8:報告事項、その他

・次回開催日について検討し、以下の日程にて決定した。

－開催日時:平成 29 年 1 月 16 日(月) 15:00～17:00

－開催場所:(一財)VCCI 協会 5 階 A+B 会議室

5-9:閉会

以上で、本日の審議を終了し、散会した。

－以 上－